

### 3. まちなみガイドラインのテーマと基本方針



# ガイドライン作成のためのワークショップ



## ワークショップの過程

1. まちあるきによる景観の読み取りと共有
2. まちなみの目標像を描く
3. まちなみガイドラインを考えよう その1
4. まちなみガイドラインを考えよう その2
5. まちなみガイドラインを完成させよう

中間研究会

2011年に広報「ふくつ」にて公募し、全5回ワークショップと中間研究会を開催しました。



ワークショップの様子

まちあるきでは、これからのまちなみに対して、多くの希望が出てきました

町家が連なる  
2階建ての方がいいのでは

お堂は大切な景観要素  
火除けの神様を祀る

まちなみを意識した弾  
高さが海へ向かうと変わる

洒落たデザインもある  
自販機は木組格子で覆う

酒造への景色が好き  
煙突が見える景観が良い

垂乃井旅館  
昔は目の前が海だった

格子や白壁が美しい  
木製建具は残したい

ベンチがもっと欲しい

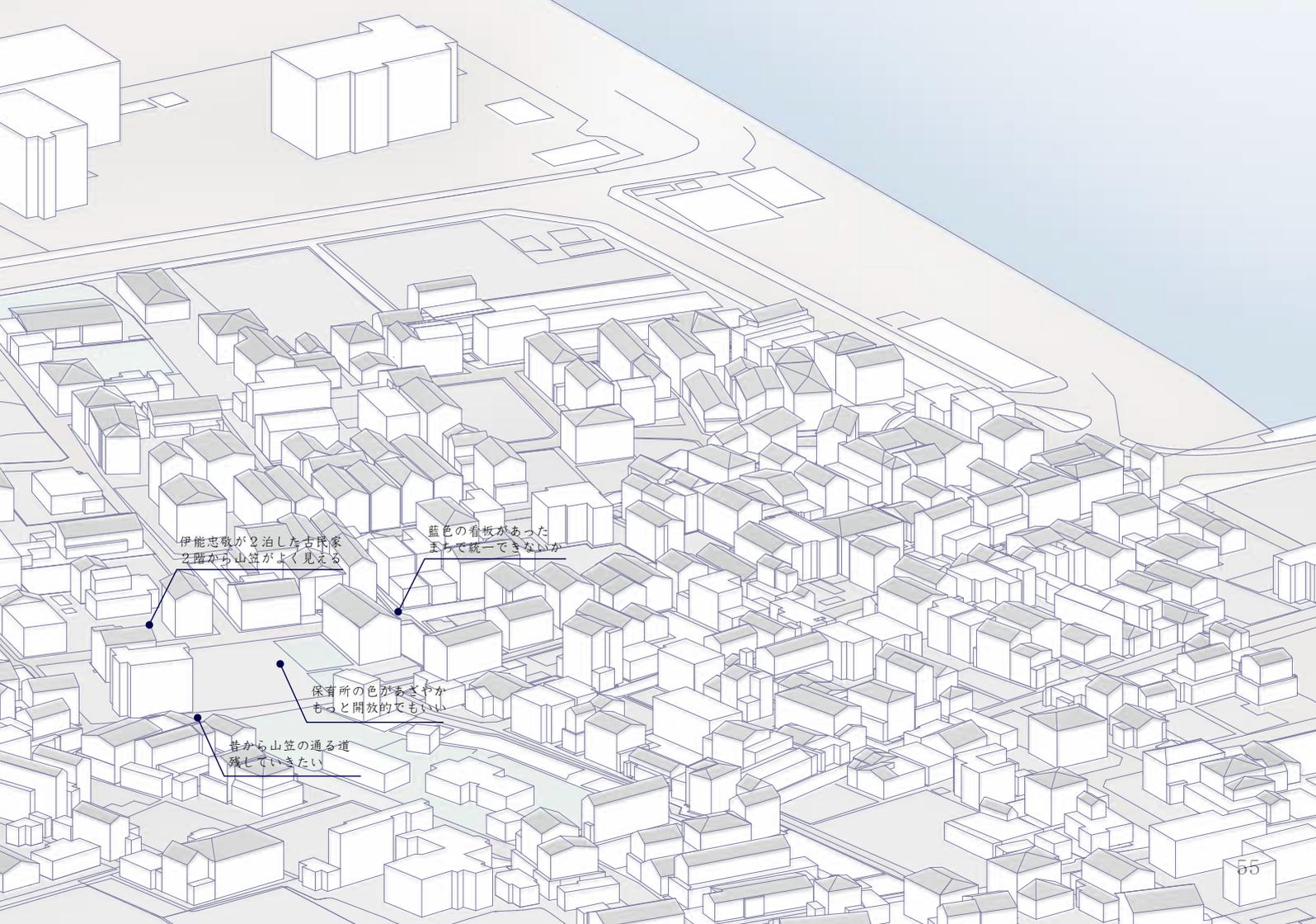
住所のサイン  
津屋崎らしい色が好ましい

おすすめの写真スポット  
軒通りの意匠の煙突が見える通り

ハマボウが黄色の花を咲かせる  
もっと増やしたい

電柱を地中化しない  
道が湾曲しているのがいい

コンクリートの壁ができて残念



伊能忠敬が2泊した古民家  
2階から山笠がよく見える

藍色の看板があった  
まちで統一できなにか

保育園の色があざやか  
もっと開放的でもいい

昔から山笠の通る道  
残していきたい

	目標像		事例
建築物	高さ	2階建て (10m以下程度)	
	屋根	形式	2方向の勾配屋根 切妻、入母屋など
		材料	瓦葺きなど
		色彩	黒又は灰色系統の落ち着いた色
	軒・庇	形式	軒・庇を設けることが望ましい
		材料	瓦葺き、銅板葺きなど
		色彩	黒又は灰色系統の落ち着いた色
	外壁	色彩	自然素材に近い色、派手な色は避ける
	開口部	格子を設けるなど	
	外構	材料	板塀、生垣、白壁とする
色彩		自然素材を活かした色とする	
設備等	公共空間に面する場所には室外機、ポンベ等の設備を設置しない ※困難な場合は、木製格子などで覆う		
工作物	-	電柱の地中化	<p>《高さ》 ・2階建て</p> <p>《設備》 ・室外機等を公共空間に面する場所に置かない</p> <p>《屋根》 ・瓦葺き ・二方向の勾配屋根 ・切妻 ・黒系統の落ち着いた色</p> <p>《外壁》 ・漆喰壁 ・自然素材に近い色</p> <p>《軒・庇》 ・軒・庇を設ける ・瓦葺き ・黒系統の落ち着いた色</p> <p>《開口部》 ・格子を設ける</p> <p>《スアイ》 ・隣家との間隔を保つ ・扉、欄を設けない</p>
		ばんこの設置	
		自動販売機の色彩計画、囲い	
		サイン計画	
		照明計画	
屋外広告物規制			
スアイ	-	隣家との間隔を保ち、塀などを設けない	
駐車場	-	配置計画	

第2回ワークショップの成果

## A グループ

- 高層建築を規制して、まちのシンボルでもある豊村酒造の煙突がどこからでも見えるようにしたい。
- 屋根や壁のトタンをどうにかしたい。
- うだつを残したい。
- 色に関しては細かく定めたい。
- ばんこがあると、人の活動がまちに映り（将棋さし、夕涼み等）、つながりも増す。
- 家の前に植栽を置くようにしたい。立ち止まることで会話が弾む。
- 街灯が少ないのであったほうが良い。
- 赤いポストを置きたい。
- 自動販売機はあって良いと思う。しかし、色の規制や囲いなど措置は必要。

## B グループ

- 12m 以下に規制してほしい。
- 全部は難しいかもしれないが、部分的には2階建て以下にしたい。
- ソーラーパネルはどのように扱うのか。
- 調和=美しさを感じさせるまちなみ。
- 洋風が好きな人でも妥協できるものでなくてはならない。
- サッシを格子窓に変えると補助金が出る等の仕組みを作ってはどうか。
- 地域ごとに景観計画を行う。
- 漁工町、商人町を分ける必要があるのでは。
- 建て替えのときに、駐車場を道路側に設けると、連なった町並みが壊れてしまう。
- 観光客の駐車場の確保が必要。

## C グループ

- 板の木目の方向も考えたい。
- 四季を感じさせるものを置く。（風鈴、すだれ、樹木等）
- 格子の玄関口。
- 風がぬけるように、塀を置くならば凹凸のあるものに。
- 藍色のサインで統一したい。
- 室外機やガスボンベはスアイにも出さないようにする。（くぼみに置けるような計画）
- スアイに面した窓をつくる。
- 勝手口、井戸でのコミュニケーション。
- 駐車場の地面の素材をコンクリートではなくまくら木等にしてはどうか。
- 駐車場のルールを設けるべき。

まちなみルールの議論



これからのまちなみのテーマ



これからのまちなみのテーマ

## まちなみを守り育てていくためのテーマ

津屋崎千軒まちなみガイドラインを作成のためのワークショップにおいて、まちなみガイドラインの主なテーマを住民の方々と考えました。

3つのテーマに共通していることは、スアイという伝統的な空間が継承されていること、歴史や伝統を大切にしていること、生活の空気や雰囲気を感じられるまちであることです。

これまで大切にされてきたまちなみを次の世代にも伝えていけるように、このガイドラインを生かしていくことを考えていきましょう。

『スアイこうらけねえ 伝統の間を風が運ぶまちなみ』

(こうらけねえ…こんなに、なんとまあ等、予想外ということを表す言葉)

『そうつこうや津屋崎 息づかいが感じられる生活が見えるまちなみ』

(そうつこうや…歩いて回ろうよ、という意味)

『しみじみ歩く千軒通り スアイからほろりと薫る暮らしの風』

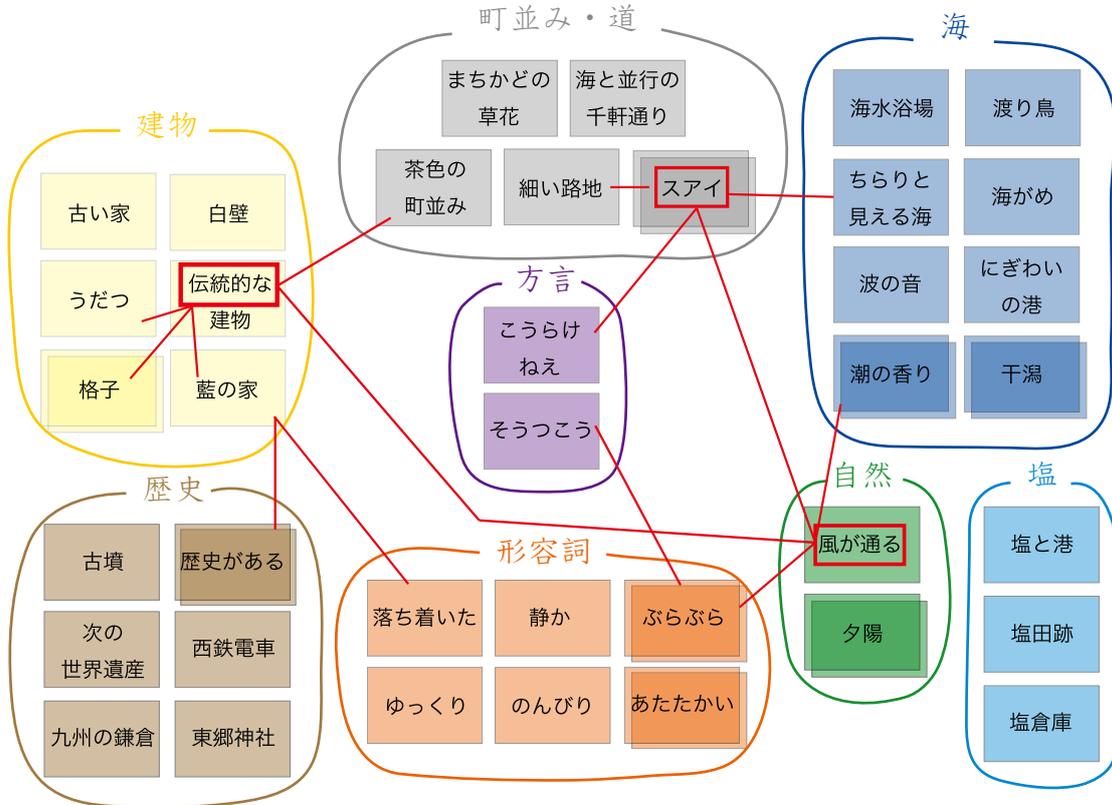


## スアイこうらけねえ

### 伝統の間を風が運ぶまちなみ

「こうらけねえ」とは、＝「こんなに沢山。なんとまあ。」という意味を示す津屋崎の方言です。スアイがたくさんあるというのは、津屋崎を象徴するような風景です。

千軒通りやスアイを歩くと、当時の面影を残す建物などに出会うことができる歴史の残るまちです。



ワークショップから出された意見より①

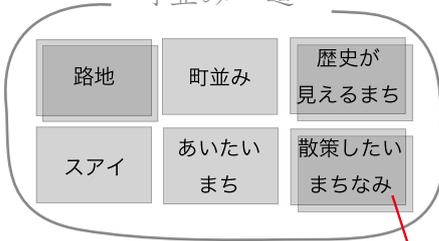


## そうっこうや津屋崎

### 息づかいが感じられる生活が見える古いまちなみ

「そうっこうや」とは、「歩いて回ろうよ」という意味の津屋崎の言葉です。津屋崎千軒のまちなみは、細い路地が特徴的です。ゆっくりと歩いてみると、細い路地のむこうに海が見えたり、家々の生活の様子が垣間見えたりします。津屋崎千軒という言葉は、千軒も民家があるほどに栄えているということから、江戸から明治期にかけて言われた言葉です。昔から民家がひしめき合っていて、細い路地があるからこそ、人々の生活の様子も身近に感じられるまちなみとなっています。

町並み・道



海



建物



人



形容詞





## しみじみ歩く千軒通り

### スアイからほろりと薫る暮らしの風

津屋崎千軒のまちなみを歩いていると、潮風や山から吹いてくる風を感じることができます。スアイは人の通る道であると同時に、風の通り道にもなっています。また、昔ながらの住宅には、格子などの伝統的な要素があります。格子もまた、細やかなすき間から、風を通すものになっています。そのように風が通って行くことで、千軒の中ではいろいろな風を体感しながら歩くことができます。

### 建物

煙突	瓦、屋根
津屋崎橋	鰻絵
卯建	古民家

### 町並み・道

町並み	更新されていくまち
千軒通り	また来たくなるまち
路地	スアイ

### 海

海と山	カプトガニ	かもめ
風の音	干潟	四季を通して変わる海
波の響き	海	漁港
ちらりと見える海	潮風	夕日

### 暮らし

こうじの匂い	晩ご飯の匂い	人情
日本酒	食材の豊かさ	生活の風
刺身	暮らしが感じられる	生活が見える
木と石	近所付き合いが濃い	歩く

歩く

### 形容詞

しみじみ	ほろり	古い中にある新しさ	古い
ゆっくり	あったか	のんびり	ほっこり
藍色	白と黒	和風	静か

